

2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <https://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
 コーポレート事業統括本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	28,165	2.6	973	△15.0	924	△20.3	673	△29.5
2025年6月期第3四半期	27,448	0.4	1,145	△22.1	1,160	△20.6	955	△11.4

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 690百万円(△12.8%) 2025年6月期第3四半期 792百万円(△33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	36.78	—
2025年6月期第3四半期	51.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	31,045	15,353	49.2
2025年6月期	30,413	14,908	48.8

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 15,282百万円 2025年6月期 14,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	4.7	1,100	23.4	1,150	26.8	750	0.4	40.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名)

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期3Q	18,590,000株	2025年6月期	18,590,000株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2026年6月期3Q	264,789株	2025年6月期	281,988株
------------	----------	----------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期3Q	18,316,612株	2025年6月期3Q	18,382,962株
------------	-------------	------------	-------------

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2026年6月期3Q264,789株、2025年6月期281,988株)が含まれています。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2026年6月期3Q208,300株、2025年6月期3Q141,950株)を含めています。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年7月1日～2026年3月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの動き、インバウンド消費の増加等を背景に、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しています。一方で、原材料や資材価格の高止まりに加え、エネルギー価格の上昇や円安傾向の継続、米国の関税政策強化や中国経済の先行き懸念、ウクライナ情勢や中東情勢などの世界的な地政学リスクの高まりなど、外部環境の不透明感は依然として払拭されていません。

食品業界においては、原材料費やエネルギーコスト、物流費および人件費の上昇を背景に、価格改定や商品規格の見直し等の取り組みが継続されている一方、物価上昇の長期化に伴い消費者の節約志向や生活防衛意識は一層強まっており、需要動向を見極めながら事業運営を行うことが求められるなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”（2045年度のありたい姿）を目指し、2021年7月から2026年6月までの第二次中期経営計画の最終年を迎え、“国内外のマーケットへの果敢なチャレンジを通じ、事業の成長力・収益力基盤を確立し、ファーストステージ「成長軌道への5年」を確実に実現する。”を基本方針として経営課題に取り組んでいます。また、地球環境の維持は企業活動の持続的な成長・発展のためには不可欠であり、「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協働しながらサステナブルな課題の解決に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高281億65百万円（前年同期比7億16百万円（2.6%）の増加）、営業利益は9億73百万円（前年同期比1億71百万円（15.0%）の減少）、経常利益は9億24百万円（前年同期比2億35百万円（20.3%）の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億73百万円（前年同期比2億81百万円（29.5%）の減少）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

（水産練製品・惣菜事業）

売上は、2025年3月1日納品分より実施した価格改定による販売価格の上昇に加え、主力であるスティックタイプのカニかまを中心とした販売数量の伸長、ならびに物価高を背景とした節約志向の高まりによるはんぺん商品群の堅調な推移により、前年同期を上回りました。加えて、おせち商品についても、「国産原料100%」の高品質商品である「純」シリーズが伸長したことから、同様に前年同期を上回りました。

利益は、生産性向上や継続的なコスト削減に努めたものの、主原料であるすり身をはじめとする原材料費や労務費の上昇による影響が大きく、前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は247億円（前年同期比6億円（2.5%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は8億65百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）は10億40百万円）となりました。

（きのこ事業）

売上は、野菜の生育状況が前年に比べ順調であったことから相場が前年を大きく下回る水準で推移し、まいたけを含むきのこ市場全体が低調に推移したことにより販売価格は下落しました。需要期である冬季の販売数量の伸び悩みはあったものの、年間を通じて数量は前年同期を上回る水準を維持した結果、前年同期を上回りました。

利益は、原材料費や労務費、エネルギー価格が高止まりしているものの、包装部門における合理化・省人化や生産効率の向上によるコスト削減を進めた結果、前年同期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は32億13百万円（前年同期比1億24百万円（4.0%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）は6百万円）となりました。

(運送事業・倉庫事業)

運送部門は、営業活動を強化し、収益性の高い自社定期便の新規案件を獲得したことに加え、実勢水準に見合った運賃への価格改定を進めた結果、売上・利益ともに前年同期を上回りました。

倉庫部門は、新規入庫案件の獲得に向けた営業強化を進めてきましたが、食品関連業界における原材料費の高止まり等を背景に、取引先で在庫圧縮の動きが継続しました。その結果、当社倉庫における平均在庫量が減少し、保管回転率も低下したことから収益が伸び悩み、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2億51百万円（前年同期比7百万円（3.0%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は84百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）1億3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は310億45百万円（前連結会計年度末比6億32百万円の増加）となりました。これは主に仕掛品の減少及び有形固定資産の償却の進行の一方、現金及び預金並びに売掛金の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は156億92百万円（前連結会計年度末比1億87百万円の増加）となりました。これは主に買掛金の減少の一方、短期借入金及び長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は153億53百万円（前連結会計年度末比4億44百万円の増加）となりました。これは主に配当金の支払いの一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。なお、自己資本比率は、48.8%から49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の連結業績予想については、2025年8月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,100,387	1,930,017
売掛金	3,411,459	3,784,068
商品及び製品	903,936	824,563
仕掛品	607,120	414,005
原材料及び貯蔵品	2,624,374	2,616,923
その他	306,789	226,694
貸倒引当金	△1,759	△3,025
流動資産合計	8,952,309	9,793,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,173,835	6,993,648
機械装置及び運搬具(純額)	6,072,345	6,137,124
工具、器具及び備品(純額)	238,746	263,212
土地	3,575,253	3,597,734
リース資産(純額)	1,568,264	1,466,605
建設仮勘定	176,651	161,555
有形固定資産合計	18,805,096	18,619,881
無形固定資産		
のれん	113,490	95,927
その他	295,937	316,954
無形固定資産合計	409,428	412,881
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833,066	1,832,261
繰延税金資産	88,234	91,909
その他	349,393	320,013
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	2,246,194	2,219,685
固定資産合計	21,460,718	21,252,448
資産合計	30,413,028	31,045,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,998,573	1,573,985
短期借入金	2,807,915	3,184,745
未払法人税等	140,325	381,396
賞与引当金	84,658	343,249
役員賞与引当金	27,915	—
未払金及び未払費用	1,974,890	2,074,124
その他	644,223	345,002
流動負債合計	7,678,501	7,902,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
固定負債		
長期借入金	5,527,659	5,725,040
リース債務	1,441,214	1,338,176
役員退職慰労引当金	43,825	47,762
役員株式給付引当金	110,995	108,539
繰延税金負債	368,276	246,055
その他	334,286	324,406
固定負債合計	7,826,257	7,789,979
負債合計	15,504,758	15,692,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	12,442,035	12,856,367
自己株式	△208,803	△193,530
株主資本合計	13,823,231	14,252,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040,354	1,046,973
為替換算調整勘定	△35,483	△17,092
その他の包括利益累計額合計	1,004,870	1,029,881
非支配株主持分	80,168	70,495
純資産合計	14,908,270	15,353,214
負債純資産合計	30,413,028	31,045,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	27,448,132	28,165,040
売上原価	21,632,943	22,610,582
売上総利益	5,815,188	5,554,458
販売費及び一般管理費	4,670,046	4,580,609
営業利益	1,145,141	973,848
営業外収益		
受取利息	532	615
受取配当金	16,472	18,543
受取賃貸料	9,085	5,603
受取手数料	20,908	17,890
売電収入	11,604	9,395
貸倒引当金戻入額	39,485	—
雑収入	28,050	26,597
営業外収益合計	126,140	78,645
営業外費用		
支払利息	58,120	91,575
支払手数料	19,900	27,900
持分法による投資損失	8,693	—
為替差損	24,010	1,878
雑損失	505	6,684
営業外費用合計	111,230	128,037
経常利益	1,160,050	924,456
特別利益		
固定資産売却益	32	299
投資有価証券売却益	118,915	75,827
段階取得に係る差益	126,523	—
特別利益合計	245,472	76,127
特別損失		
固定資産除却損	5,274	2,191
工場解体費用	49,909	—
特別損失合計	55,183	2,191
税金等調整前四半期純利益	1,350,339	998,391
法人税、住民税及び事業税	383,944	472,457
法人税等調整額	18,942	△131,693
法人税等合計	402,887	340,764
四半期純利益	947,452	657,627
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,901	△16,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	955,354	673,681

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	947,452	657,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,401	6,619
為替換算調整勘定	△35,196	26,736
持分法適用会社に対する持分相当額	△50,679	—
その他の包括利益合計	△155,277	33,356
四半期包括利益	792,174	690,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	806,885	700,657
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,710	△9,673

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,348,937千円	1,396,266千円
のれん償却額	6,548	18,779

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	24,099,756	3,088,842	259,533	27,448,132	—	27,448,132
外部顧客への売上高	24,099,756	3,088,842	259,533	27,448,132	—	27,448,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	463,245	463,245	△463,245	—
計	24,099,756	3,088,842	722,778	27,911,377	△463,245	27,448,132
セグメント利益又は損失(△)	1,040,611	△6,473	103,650	1,137,788	7,353	1,145,141

(注) 1 セグメント利益の調整額7,353千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	24,700,376	3,213,025	251,638	28,165,040	—	28,165,040
外部顧客への売上高	24,700,376	3,213,025	251,638	28,165,040	—	28,165,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	469,234	469,234	△469,234	—
計	24,700,376	3,213,025	720,873	28,634,275	△469,234	28,165,040
セグメント利益	865,361	16,663	84,495	966,520	7,327	973,848

(注) 1 セグメント利益の調整額7,327千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「その他」に含まれていた「運送・倉庫事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の区分から、「水産練製品・惣菜事業」及び「きのこ事業」、「運送・倉庫事業」の3区分に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。